

第七十九回
帝國議會
貴族院

郵便法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

郵便法中改正法律案(政)

郵便貯金法中改正法律案(政)

鐵道敷設法中改正法律案(政)

地方鐵道補助法中改正法律案(政)

委員氏名

- | | | |
|------|--------|------|
| 委員長 | 子爵清岡 | 長言君 |
| 副委員長 | 男爵神山 | 嘉瑞君 |
| | 公爵二條 | 彌基君 |
| | 子爵仙石 | 久英君 |
| | 田所 | 美治君 |
| | 堀 | 啓次郎君 |
| | 中島德太郎君 | |
| | 片倉兼太郎君 | |
| | 永瀨 | 寅吉君 |

昭和十七年二月三日(火曜日)午前十時九分開會

○委員長(子爵清岡長言君) ソレデハ只今カラ郵便法中改正法律案外二案ノ委員會ヲ開キマス、最初ニ逓信省所管ニ屬スル二ツノ法律案ノ御説明ヲ聽キマシテ、次デ鐵道省ノ所管ノ二案ノ政府ノ説明ヲ聽キタイト存ジマス、ソレヲ終ッテ御質問ヲ願ヒタイト存ジマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵清岡長言君) 御異議ナイト認メマス、ソレデハ逓信大臣ノ御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(寺島健吉) ソレデハ私カラ逓信省所管ノ二ツノ法律案ニ付テ御説明ヲ致

第四部第一三類 郵便法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號 昭和十七年二月三日

シマス、先ツ郵便法中改正法律案ニ付キマシテノ提案ノ趣旨ヲ御説明申上ゲマス、本案ハ郵便料金を既ニ規定ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマシテ、改正ノ理由ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ申上ゲマシタ如ク、各種通信料金ノ引上ニ依ッテ國庫收入ノ増加ヲ圖リ、戰時財政ノ強化ニ資スルト共ニ、戰時下重要ナル通信事業ノ運行ニ支障ナキヤウ事業ノ調整ヲ圖リタイト存ズル次第デアリマス、郵便料金ノ改正方針及程度ニ付キマシテハ、郵便ノ利用ガ國民ノ日常生活ト密接ナル關係ヲ有スル點ニ鑑ミマシテ、其ノ影響ヲ可及的少カラシムルヤウ考慮致シマシテ、料金引上ノ割合ハ全體トシテ大體二割五分程度ト致シタノデアリマス、尤モ一部ニハ更ニ高率ヲ引上率トナッテ居ルノモアリマスガ、是ハ利用ノ狀況、郵便物ノ性質等ヲ考慮シ、又貨物單位ノ關係ヨリ、ソレト適當ト認ムル所ニ定メタノデアリマス、尙其ノ郵便種類ノ中其ノ利用ガ最モ普遍的デアリマス所ノ通常葉書及往復葉書ノ料金引上ヲ致サナカッタノモ右ノ如キ趣意ニ依ルモノデアリマス、以上ハ本改正法律案ニ依ッテ引上ゲラレマスル普通通常郵便料金ニ付テ申上ゲタノデアリマスガ、右ノ外同様ノ目的ノ爲逓信省令ニ規定セラレテ居リマスル所ノ小包郵便料金及特殊取扱料金ニ付キマシテモ、之ニ相應スル程度ノ引上ヲ行フ積リデアリマス、御參考迄ニ申上ゲマスレバ、料金引上ニ依ル昭和十七年度増収見込額ハ、本案ニ依リマスル普通通常郵便料金

ト其ノ他ノモノトヲ合セテ大體千九百萬圓ノ豫定デアリマス、サウシテ其ノ大部分ハ國家財政ノ強化ニ充テラレ、一部ヲ事業施設ノ擴張ニ充ツルコトニナッテ居リマス、次ニ郵便貯金法中改正法律案提案ノ趣旨ニ付キマシテハ、本會議ニ於テ概略御説明申上ゲタノデアリマスルガ、尙此ノ機會ニ於キマシテ説明ヲ補足致シタイト存ジマス、本改正ノ要點ハ、郵便貯金ノ一人ノ總額制限額ヲ現在ノ三千圓ヲ五千圓ニ引上ゲマスコトト、郵便貯金切手制度ヲ創設スルコトト、二點デゴザイマス、御承知ノ如ク郵便貯金ノ一人ノ總額制限額ハ、明治三十八年本制度創設ノ當初ニ於キマシテハ之ヲ五百圓ニ定メラレテアッタノデアリマスガ、爾來經濟界ノ發展ニ伴ヒマシテ數次ノ改正ヲ加ヘラレ、更ニ昨年二月第七十六議會ノ協賛ヲ得テ二千圓ヨリ三千圓ニ引上ゲラレタノデアリマス、昨年改正ノ當時ニ於キマシテモ、國民ノ所得額及其ノ貯蓄力増進ノ實況等ヨリ致シマスレバ、之ヲ五千圓程度迄引上ゲタイ希望デアッタノデアリマスガ、郵便貯金ノ類似制度デアリマスル貯蓄銀行及産業組合ノ貯金ニハ三千圓以上ノ預金ニ對シマシテ課稅セラレルノデアリマス、是トノ關係等ヲ考慮致シマシテ、其ノ引上ノ限度ヲ三千圓ニ止メタノデアリマス、然ルニ其ノ後ニ於テ情勢ハ、益、國民貯蓄ノ増加ヲ要スルコトトナリ、尙來年度ヨリ貯蓄銀行及産業組合ノ貯金ニ對スル免稅點ヲ三千圓ヨリ五千圓ニ引上グルコトトシテ、之ガ改正法律案ヲ本

議會ニ提出致シテ居ルノデアリマス、此ノ際郵便貯金ニ於キマシテモ一人ノ總額制限額ヲ五千圓ニ引上ゲタイト存ズル次第デアリマス、次ニ郵便貯金切手制度ニ付テ申上ゲマス、浮動購買力吸收ノ手段トシテ貯蓄ノ増強ヲ圖ルコトハ極メテ緊要ナコトデアリマスガ、單ニ既設制度ノ利用ヲ獎勵スルノミデハ實效ヲ收メタルコトガナカク、困難デアリマスノデ、茲ニ從來ノ貯蓄方法トハ聊カ趣ヲ異ニスル郵便貯金切手制度ヲ創設シタイト存ズル次第デアリマス、本制度ノ狙ヒ所ハ、國民ノ堅實ナル貯蓄心ヲ害セザル限リニ於テ一般大衆ノ心理ヲ利用シ、時局ニ依リ所得ノ増加シタ階級ニ存在スル浮動購買力ヲ吸收セムトスルモノデアリマシテ、其ノ骨子ハ額面二圓及一圓ノ郵便貯金切手ヲ發行シ、之ヲ郵便局、郵便切手賣捌所等ニ於テ販賣ヲ爲シ、賣出期間後成ルベク速カニ抽籤ヲ行ヒ、當選シタ切手ニ對シテハ適當ノ割増金ヲ附シ、尙抽籤ノ濟シダ切手ハ速カニ郵便貯金ニ預入セシメテ、之ヲ一定期間無利子ノ貯金ト爲サシメルモノデアリマス、以上ノ如キ趣旨ニ依リマシテ本改正法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○國務大臣(八田嘉明君) 鐵道敷設法中改正法律案並ニ地方鐵道補助法中改正法律案提出ノ理由ヲ御説明致シタイト存ジマス、鐵道敷設法中改正法律案提出ノ理由ニ付キマシテハ、過日本會議ニ於テ一應御説明申

上ゲタノデアリマスガ、此ノ場合今少シク敷衍シテ申上ゲタイト存ジマス、今回ノ改正ハ鐵道敷設法別表第百二十九號ニ掲ゲラレタル豫定鐵道線路即チ渡島國上磯ヨリ木古内ヲ經テ江差ニ至ル鐵道及木古内ヨリ分岐シテ福山ニ至ル鐵道ノ終點福山ヲ大島迄延長セムトスルモノデアリマシテ、約二十六「キロメートル」ノ區間デアリマス、本線路ノ沿線ハ時局下最モ緊要ナル、鐵鋼ノ生産ニ缺クベカラザル「マンガシ」鑛ノ豐富ナル埋藏地帯デアリマス、「マンガシ」鑛ガ從來多ク輸入ニ俟ツテ居リマシタコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、世界情勢ノ變化ハ此ノ輸入ヲ困難ナラシメタノデアリマス、鐵鋼増産計畫ノ實施ニ伴フ國內「マンガシ」ノ需要増加ハ、本地方ノ「マンガシ」鑛ノ積極的ニ開發スルコトガ緊要トナツテ參シタノデアリマス、仍テ本區間ニ鐵道ヲ敷設致シマシテ、之ガ増産ヲ圖リ、戰時資材トシテ緊要ナル鐵鋼ノ増産ニ寄與致シマスト共ニ、地方交通ノ整備、地方産業ノ開發ニモ貢獻致シタイト存ジマシテ、昭和十七年度ヨリ工事ニ著手シ、十九年度ニ完成致シタイト考ヘテ居リマス、然ルニ本區間ハ鐵道敷設法別表ニ掲ゲテアリマセヌカラ、之ヲ豫定鐵道線路トシテ之ヲ追加スル必要ガアリマスノデ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、次ハ地方鐵道補助法中改正法律案ニ付テ御說明申上ゲマスガ、本案モ週日本會議一應御說明申上ゲタノデアリマスガ、此ノ際少シク詳細ニ申上ゲタイト存ジマス、現行補助法ハ昭和十二年三月改正セラレタモノデアリマシテ、其ノ趣旨ト致ス所ハ、地方鐵道ノ運営ヲ確保シ、效用ヲ増進セシムルコトヲ目的ト致シマシテ、建設費ノ百分ノ四ニ相

當スル金額ヨリ、益金ヲ控除シタル殘額ヲ限度トシ、運輸數量ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依リマシテ計算シタル補助金ヲ交付スルモノデ、且補助ノ目的達成上遺憾ナキヲ期スル爲、命令ヲ以テ補助金ノ使途ニ關スル規定ヲ設クルコトト致シタモノデアリマス、然ルニ本法ノ施行ヲ五年ニ限テアリマスノデ、昭和十七年四月一日以後ノ期間ニ付テハ補助金ヲ交付シ得ナイコトニナツテ居リマス、雖ツテ現行補助法施行後ニ於キマスル地方鐵道ノ業績ヲ見マスルト、補助ノ效果ハ漸次擧リツ、アリマスト共ニ、一般貨客アリマスガ、一方物價ヤ賃銀ノ昂騰、「ガソリン」ノ代燃化等ニ依リマシテ、支出ノ方モ増嵩致シテ參リマシタ上ニ、輸送力ノ増強ノ必要ニ迫ラレツ、アルモノガ多イノデ、之ガ施設ノ改善ニ要スル費用モ嵩シ、收益狀態ハ寧ロ低下スル傾向ニアルモノモ相當多イノデアリマス、而シテ昭和十五年度ニ於テ建設費ニ對スル益金割合ガ年四分ニ達シナイ所ハ、全地方鐵道ノ約四割ニ相當致シテ居ル狀態デアリマス、從ツテ施設ノ改善ヲ爲シ、事業内容ノ強化ヲ圖リマシテ、現下喫緊ノ要務タル交通ノ確保ヲ期スル爲ニハ、即チ補助制度ノ存續ヲ必要トスルモノガ多イノデアリマシテ、今回補助期間ヲ更ニ五箇年延長セムトスル次第デアリマス、尙地方鐵道ノ中ニハ、從前ノ規定ニ依リマシテ補助ヲ受ケテ居ルモノモアリマスノデ、今回五箇年ニ延長致シマス、其ノ終期ヲ一致サセル結果トナリマス、以上大體ノ御說明ヲ申上ゲマシタガ、御質問ニ依リ御答ヘ致シタイト存ジマス、何卒御審議ノ上兩案共御協賛アラムコトヲ切望致シマス

○委員長(子爵清岡長吉) 四案ノ御說明ハ終リマシタ、是ヨリ質疑ニ入ラウト存ジマス、先ツ最初郵便法中改正法律案及郵便貯金法中改正法律案、此ノ兩案ノ御質疑ヲ願ヒマス

○田所美治君 簡單ナ案デアリマスシ、又御說明ヲ伺ヒマシテ今日ノ時局ニ是位ナコトハ當然已ムヲ得ナイト考ヘマスケレドモ、一ニ伺ヒ見マセウ、今度ノ改正デ國家財政ノ寄與、即チ收入増ト云フコトヲ目的ノ第一眼トサレテ居ル、増稅其ノ他ト相俟ツテ御考ヘニナルノハ無理ガナイト存ジマスガ、逓信大臣ノ今御說明ニナリマシタ所デモ、公益ノ關係ト云フモノヲ「バランス」ヲ見テ行カナクチヤナラス、サウガラウト思フノデアリマスガ、郵便位置ニ安イモノハナイノデ、是ハ公益關係デ、社會全體カラ、是位安イモノハナイ、是ハマア全體國債ノ關係モ同様デアアルノデアリマスカラ、我が國デモ二錢三錢四錢ト斯ウナツテ來テ居ルヤウナ譯デ、今度五錢ニナルノデ、是ハ十錢ニシテモ安イモノ、斯ウ云フ考モアルノデアリマスガ、列國ノ近來ノ情勢ハドウナツテ居リマスガ、私共外國ニ居リマシタ時分ニハ方々萬國協定其ノ他出來テ居ッタノデアリマセウ、略、同様ニ心得テ居リマシタガ、一向素人デアリマスカラ、ドンナ工合ニナツテ居リマスガ、戰時ノ狀態ニ於テハ必ズ又特別ノヤリ方ヲヤツテ居ルカト存ジマスケレドモ、今日デハ敵國關係ニナリマシタカラ、殆ド外國關係ト云フモノハ郵便デモ餘程少クナツテ居ラウト思ヒマスケレドモ、其ノ邊ヲ一ツ伺ヒ見タイト思ヒマス、ソレカラ是ハ念ノ爲デアリマスケレドモ、千九百萬圓程郵便其ノ他全部ノ收入増ガア

ル見込デアアル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、三錢ヲ四錢ニ致シマシタ時分トカ、或ハ二錢ヲ三錢ニシタ時分トカニ、是ハ公益關係ニ付テ伺フノデアリマスガ、量ハ殖エマセウガ、質ハ……値ハ殖エマセウケレドモ、用ヒガ少クナツタ、斯フ云フヤウナ關係ハアリマスマイカ、ソレハチヨツト考ヘヌトイクマイト存ズルノデアリマスカラ、多分一錢位上ツタ所デ何等ノ影響ハナイト存ジマスケレドモ、念ノ爲其ノ邊ヲ伺ヒ見タイト存ジマス、ソレカラ萬國關係ノ方ハドウナリマスガ、國際關係ノ協定額ガ出來テ居ルノデアリマスルガ、ソレハ頓着ナシニ、戰時中ノ財政トシテ各國勝手氣盡ニヤツテ居ル、斯フ云フ情勢デ日本モ單獨ニ斯ウ云フモノヲ幾ラデモ上ゲテ行クト云フコトガ出來ルト云フ御考デ出來テ居リマスガ、此ノ邊ヲ御說明ヲ伺ヒ見タイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイトハ郵便料モ安イガ、電信料デアリマス、電信料ハ新聞ニ能ク出デ居リマシタガ、内容ハ能ク分リマセヌガ、電信ハドウナリマスガ、是ハ三十錢デ、電信ハ此ノ頃人が少イノデ、逓信省アタリデモ成ルベク電信ハ止メテ吳レト云フ方針ヲ執リマシタ居ルヤウデスガ、一方ニ於テハ收入ヲ増シテ行カケレバナラス、斯フ云フ譯デアリマスカラ、郵便ヲ五錢ニスルト云フコトニナレバ、電信料モ四十錢トカ五十錢ト云フモノニ一應ナサツタ方が宜シイヤウニモ考ヘマス、其ノ邊ニ付テモ、是ハ郵便料デアリマセヌガ……

○國務大臣(寺島健若) 今御尋ノ外國ノ郵便料ハドウナツテ居ルカ、ソレモ段々上ツテ居リマシテ、各國ノ大體比較シタ表ヲ作ッテ居リマスガ、其ノ點ハアトデ政府委員カ

ナコトデゴザイマス

○田所美治君 外國郵便ガ六割増エタト云フノハ、即チ二十「グラム」デ今ドレダケニナツテ居リマスカ

○政府委員(遠藤後一君) 十二年ノ時二十錢ノ封書ヲ二十錢ニ致シマシタ

○田所美治君 逓信大臣カラ先程御話ガゴザイマシタ電話料、電信料ハ、逓信省令デ處理ガ出來ル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、此ノ案ガ成立チマスト同時ニ、省令ノ改正ヲ爲サツテ此ノ方ヲ御上ゲニナル、斯ウ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(寺島健君) 大體其ノヤウニ……

○田所美治君 其ノ増ハドノ位デゴザイマスカ、電信電話ノ御計畫デ……

○國務大臣(寺島健君) 大體六千五百萬圓バカリガ電信電話ノ増ノ見込デアリマス

○田所美治君 私人大體分リマシタ

○片倉兼太郎君 郵便貯金切手デアリマシガ、無論只今大臣閣下ノ御説明ニ依リマシテモ、一定ノ期間ヲ無利子ニシテ置クト云フコトデアアルノデ、是ハ私共常識カラ考ヘテ見マシテモ、貯金切手ハ普通ノ貯金トハ別ノ取扱ラスルト云フ御考デアアル、ダラウト思フノデアリマスガ、言ツテ見ルト云フト、一度預ケタモノヲ再ビ此ノ郵便切手ニ利用スルト云フヤウナコトハ出來得ナイコトニナルト存ジマスガ、斯ウ云フコトハ無論サウダラウト存ジマスルガ、其ノ程度ヲ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(寺島健君) 片倉サンノ御説ノ通り、普通ノ郵便切手賣ルノデハナク、別ノ形ノモノヲ印刷シテ居リマス、ソレハ切手其ノ他ノモノノ如ク封書等ニ貼ツテ通

用スルモノデハナイノデアリマス、貯金切手デゴザイマシテ、是ハ一定年限間無利子デ預ケテ、後ハ定額貯金トカ其ノ他ノ方ニ振り向ケテ貰ハウ、其ノ無利子ノ間ノ郵便貯金ノ利子ヲ其ノ年限間ニ掛ケタモノダケヲ割増金附デ抽籤トシテヤラウト云フ制度デゴザイマス

○片倉兼太郎君 サウシマスルト、詰リ此ノ一定ノ期間ト云フコトハ、郵便貯金切手ヲ發行シナイ程度迄ヲ一定ノ期間ト心得テ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(寺島健君) 今ノ處大體五年位ト考ヘテ居リマス

○片倉兼太郎君 承知シマシタ、私濟ミマシタ

○田所美治君 貯金法ニ付テ序デニ伺ツテ置キマスガ、是モ其ノ影響ヲ一番蒙ツテ來ルノハ先程大臣ノ御説明ニナリマシタ通り、貯蓄銀行ノ小サナ貯金ニ一番影響シテ來ハシナイカト考ヘルノデアリマス、甚ダ迂闊デアリマスガ、郵便貯金ノ利率ハ今ドノ位ニナツテ居リマスカト云フコト、貯蓄銀行ノ一般利率ハドノ位ニナツテ居リマスカト云フコト、ソレカラ免稅點ノ三千圓ヲ五千圓ニ引上ゲルト云フ御説明デアリマシタガ、ソレハ税法ヲ見レバ分リマスガ、税法ニハサウ出テ居ルト承知シテ宜シウゴザイマスカト云フヤウナコトヲ伺ツテ見タイト思ヒマス、要ハ、是ハ貯蓄銀行ノ方デ集メマシテモ、政府ガ集メマシテモ、詰リソレハ公債ニナルノデアリマスカラ同様ノ結果ヲ擧ゲル、國家目的ニ副フ、私設ノ銀行モ近年ハ嚴重ナ監督ノ下ニ一生懸命ヤツテ居ルダラウト思フノデアリマスガ、此ノ目的ハ、即チ今ハ三千圓以上ハ貯蓄銀行デヤツテ居ル、斯ウ云フ譯ダラウト思

ヒマスガ、ソレヲコッチヘ取ラレル、隨分是ハ金ガ殖エテ來タノデ、貯蓄銀行ノ方ノコトハ私共能ク存ジマセスケレドモ、ナカノ近來預金ガ殖エテ居ルヤウデアリマス、此ノ戴イテ居ル表ヲ昨晩見テ見マシタガ、大分殖エテ居リマスカラ、影響ハナイカトモ思ヒマスケレドモ、今ノ利率ノ關係ヤラ、一生懸命民間モヤツテ居ルデアラウト思ヒマスカラ、其ノ邊ノ所ハ十分ニ御覽ニナツタ上ノコトダラウト思ヒマスケレドモ、御説明ヲ仰ゲバ仕合セト存ジマス、ソレカラ郵便貯金切手ニ割増金ヲ附ケルト云フコトハ、政府ノヤツテ居ル事業デ割増金ヲ附ケテ居ルノハ外ニドウ云フモノガゴザイマセウカ、銀行ノ債券等ハサウ云フコトニナツテ居リマスガ、賭事ト云フヤウナコト、「スベキレイチヅ」ナコトハイカスト云フヤウナコトハ、年來ヤカマシイ問題デアリマスカラ、其ノ點モ一應伺ツテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ「命令ノ定ムル」ト云フノガゴザイマスガ、命令ノ案ガ若シ御出來ニナツテ居リマスレバ參考ニ御伺ヒタイゴザイマス

○政府委員(伊勢谷次郎君) 只今ノ御尋ニ御答ヘ致シマス、貯蓄銀行ノ利率ト郵便貯金ノ利率トノ比較デゴザイマスガ、郵便貯金ニ於キマシテハ、現在利率ハ二分七厘六毛デゴザイマス、只今申上ゲマシタノハ通常郵便貯金ノ利率デゴザイマスガ、据置郵便貯金ト云フノガゴザイマシテ、是ハ三分三毛六絲デゴザイマス、一方貯蓄銀行ノ方ノ利率ハ三分三毛デゴザイマス、併シ申上ゲル迄モナク、郵便貯金ノ方ハ税金ガ掛カリマセマシタガ、貯蓄銀行ノ方ノ利息ニハ税金ガ掛カリマス、其ノ税引利廻ハ三分一厘五毛九絲ノヤウデゴザイマス、左様ナ次第デゴザ

イマシテ、利率ノ點ニ於キマシテハ、貯蓄銀行ノ預金利率ノ方ガ優ツテ居ル、狀況ニアルモノト考ヘラレマス、此ノ郵便貯金ノ預ケ入レ最高制限額ヲ五千圓ニ上ゲマシタル場合ニ於キマシテ、貯蓄銀行ニ對スル影響ノ御尋デゴザイマスガ、實ハ昨年御承知ノヤウニ郵便貯金ノ最高制限二千圓ヲ三千圓ニ増額致シタノデアリマス、其ノ當時ニ於ケル貯蓄銀行ニ對スル影響ト云フモノハ、是ハナカノ分リ難イノデゴザイマスガ、併シ統計ニ現ハレテ居リマスル所ヲ以テ見マスレバ、即チ最高制限ヲ三千圓ニ増額シタル後ノ郵便貯金ノ増加率、ソレカラ貯蓄銀行ノ預金ノ増加率ト云フモノヲ考覈致シテ見マスルト、殆ド影響ハナカッタト申上ゲテ差支ナイノデハナカラウカト申上ゲリマス、ソレカラ此ノ度ノ五千圓ニ引上ゲルコトニ付キマシテ、ドウ云フ影響ヲ及スカト云フコトニ付キマシテハ、先程御述ニナリマシタヤウニ、今度税法ノ改正ニ依リマシテ、今迄三千圓以下ガ、貯蓄銀行ノ預金ハ免稅ニナツテ居ッタノデアリマス、ソレガ五千圓以下ト云フコトニ免稅點ガ引上ゲラレル譯デゴザイマス、從ツテ貯蓄銀行ノ方ノ預金モ、五千圓以下ハ免稅ニナル、斯フ云フコトニナリマスルカラ、五千圓以下ノ預金ニ付キマシテハ、今日ニ於ケル郵便貯金ノ利廻リ狀況ト貯蓄銀行ノ預金ノ利廻リ狀況トハ、今日ノ利率ヲ保ツト云フ譯デゴザイマスルカラ、左シタル影響ハナイモノト考ヘテ差支ナイデヤナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、尙割増金ニ付キマシテ、政府ノヤツテ居リマスル貯金ト類似ノモノニ付テ、割増金ノ附イタ例ハアルカトノ御尋デゴザイマスルガ、政府ノ

ヤッテ居リマス貯蓄機關ト致シマシテハ、殆下郵便貯金以外ニハナイト申シテモ差支ナカラウ、從ヒマシテ外ニ其ノ例ハナイノデアリマシテ、今度郵便貯金ノヤリマスル郵便貯金切手ニ割増金ヲ附ケルト云フコトガ、其ノ嚆矢デハナカラウカト思ヒマス、尤モ勸業銀行デ發行致シテ居リマス貯蓄債券、報國債券、此ノ兩制度ニ付キマシテハ、申上ゲル迄モナク、銀行ガ發行致シテ居ル譯デハゴザイマスルガ、今日ノ状態ニ於キマシテハ、殆下大藏省ガ國債消化ノ手段トシテ發行セシメテ居ル狀況デゴザイマスルカラ、是ハ今日ニ於キマシテハ、實質上政府ノ發行シテ居ルモノト殆下同一ノ實情ニアリヤニ考ヘラレル次第デゴザイマス

○田所美治君 據置云々ト云フ御話ガアリマシタガ、チヨット私聽キ誤テ居ルカモ知レマセヌガ、三分三毛六絲ト云フ御話ガアリマシタガ、貯蓄銀行デハ三分一厘、サウ云フ譯デゴザイマシタカ知ラン、サウスルト、貯蓄銀行ノ方ガ幾ラカマア利率ハ好イ、ダカラ細民ト云ヒマスカ、小サナ貯蓄ヲシテ居ル人ハ、貯蓄銀行ヘ持つテ行ケバ、若干デスカ、若干利率ハ好イト云フ工合デアリマセウカ、此ノ點ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス、幾ラカ是ハ割増金ハナシ、ナカク、是ハ……隣ニ實業ニ御關係アル堀君ナドモオイデニナリマスケレドモ、銀行モ近頃ハ利鞘ガ殆下ナクナッテ居ラダラウト、マア推測出來マス、殆下貯蓄銀行ハ大半公債ヲ持テ、斯ウナッテ居リマスカラ、餘リニ是ハ慮メツケルト云フト、立タナクナル、營業ハ出來ヌト云フコトノヤウニモ杞憂ヲ持ツノデアリマス、是ハ政府ノ、色々マア保險金ヲ上ゲルニシマシテモ、今度モ出テ居リマスガ、

一番其ノ點ガ問題ニナリマスルガ、三千圓ヲ五千圓ニスルト云フコトハ、可ナリ細民貯蓄ノ目的ニシテ居ルヤト考ヘマスカラ、多クハ貯蓄銀行ハ大分五千圓以下ヲ政府ノ貯金ノ方デ割増金迄附ケテ取ラレト云フコトニナルト、其ノ邊ガ營業難ニ餘程ナリヤシナイカ、又工作ヲ、財政當局ニ於テハ銀行ノ合併トカ色々ノ整理トカラシナケレバナラス、直チニハナリマスマイケレドモ段々ニ斯ウサウ云フ點ガ嚴シクナリハセヌカト考ヘルノデアリマスガ、政府ノ方デハ割増金迄附ケテヤル、今御伺ヒシマスレバ是ガ嚆矢デアル、初メテノ例ダト云フコトデアレバ、黙ッテ居ッテモ郵便貯金ハ極ク簡單デアリマスカラ割増金ヲ附ケナクテモ來ヤシナイカ、之ニ割増金ヲ附ケル斯ウ云フコトニナリマスカラ餘程打撃ヲ被リヤシナイダラウカ、モウ一ツ要スルニ單刀直入ニ伺ッテ見レバ銀行側ノ方デハ大シタハ不滿ハナイノデアリマセウカ、伺ッテ置キマス

○政府委員(伊勢谷次郎君) 先程申上ゲマシタ中ニ私申上ゲ間違ガアルヤウデゴザイマスカラ訂正サシテ戴キタイト思ッテ居リマス、貯蓄銀行ノ據置貯金ノ利率ガ三分三毛ト申上ゲタサウデゴザイマスガ、三分三厘ナノデゴザイマス、ドウゾ御直ヲ願ヒマス、只今ノ御尋ネノ最高制限ヲ上ゲテ、其ノ上ニ割増金ヲ附ケルト云フコトデアレバ貯蓄銀行ヲ壓迫スル點ガ多イデハナイカト云フ御尋デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ重々私共モ御話ノヤウニ考慮シナケレバナラス點デアリマスルシ、色々ト考慮シタノデアリマス、最高制限ヲ上ゲマスルト云フコトト、郵便貯金切手ニ割増金ヲ附ケルト云フコトトハ實ハ一ツノ制度ニ非ズシテ、

二ツノ制度ナノデゴザイマス、郵便貯金ノ全部ニ割増金ヲ附ケルト云フ譯デハゴザイマセヌノデ、郵便貯金切手トシテ賣出シマスルモノ、其ノ貯金切手ニ割増金ヲ附ケルノデゴザイマスカラ……併シ先程大臣カラ申上ゲマシタ如クニ此ノ貯金切手ニ依ッテ預入レシマシタ貯金ニ對シマシテハ、五箇年間利息ヲ附ケナイヤウニ無利息ナノデゴザイマス、大臣カラ申上ゲマシタヤウニ五箇年間ノ利息ヲ以テ割増金ニ充テル、五箇年間ノ利息等ヲ以テ、利息ヲ以テ割増金等ノ經費ニ充テル、斯ウ云フコトナノデゴザイマスカラ、利息ヲ附ケタ上ニ割増金ヲ附ケルト云フ譯デハナイノデゴザイマスカラドウカ御承知置キテ願ヒタイノデアリマス、尙先程御尋ノ命令事項ニ付キマシテモノハ印刷ヲ致シテゴザイマスカラ、アノ命令事項ノモノハ拵ヘテゴザイマスカラ後刻御手許ニ差上ゲルコトト致シタイト思ヒマス

○田所美治君 諄ウゴザイマスガ、モウ一ツ伺ッテ置キタイ、サウスルト郵便貯金ノ方デ見マスルト、三分三毛斯ウ云フ譯デゴザイマスネ、三分三毛、ソレカラ貯蓄銀行ノ方デ言フト三分一厘ナンボデスカ、先刻ニハ三分三毛六絲ト仰ッシヤッタガ、今度ハ銀行ノ方デハ三分三厘デアル、ケレドモ稅ノ關係ナンカガアッテ、二分一厘ニナル、斯ウ云フ風ニ御直シニナッタンデアリマスガ、幾ラカ七毛ダケノ差ガアルカラソレデ處置シヨウ、斯ウ云フ譯デ御置キニナル、斯ウ承知シテ宜シウゴザイマスガ、伺ッテ見タイノデアリマス

○政府委員(伊勢谷次郎君) 此ノ度ノ法律案ノ改正ニ付キマシテハ、貯蓄銀行ノ方カラ何事モ御話ヲ聽イテ居リマセヌ

○田所美治君 了承シマシ

○委員長(子爵清岡長言君) 遞信省ノ分ニハ御質問ゴザイマセスカ、御質問ナイヤウデゴザイマスカラ、質問ハ是デ閉デマス、

○政府委員(伊勢谷次郎君) 只今御話ノ通りデゴザイマス、五千圓以下ニアリマシテハ、貯蓄銀行ノ方ハ三分三厘、郵便貯金ノ方ハ據置デ三分三毛六絲デゴザイマシテ、ソレカラ割増金ハ斯ウ云フ郵便貯金ニハ附カ大イ譯デゴザイマス、ソレハ郵便貯金切手ニ附クノデアリマシテ、割増金ノ附キマシタ貯金切手ハ五年間ハ無利息ト云フコトニナル譯デゴザイマス

○田所美治君 サウ云フコトガ命令ニ規定シテアルト承知シテ宜シウゴザイマスネ、モウ一ツチヨット伺ッテ置キマスガ、貯蓄銀行ハ、是ハ大分此ノ案ガ出テカラ久シクナリマスカラ、知ッテ居リマセウカ、餘リ不滿ヲ申出テ來テ居リマセスカ、國策上致方ナイト、承知シテ黙ッテ居リマセウカ知ラ……

○次ニ鐵道省ノ質問ハ如何致シマセウ、今一回開イテ此ノ次ニ致シタラ如何カト存ジマスガ、如何デゴザイマセウカ

○田所美治君 マダ十一時デスカラ少シ質問位ヤッタラドウデスカ

○委員長(子爵清岡長言者) ソレデハ是カラ鐵道ノ方ノ御質問ヲ願ヒマセウ

○田所美治君 御尋ネシテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵清岡長言者) ドウゾ……

○田所美治君 鐵道大臣御承知ノ通り全ク素人デゴザイマスガ、此ノ鐵道敷設法ノ新設線ハ、無論是ハ鐵道會計ト云フモノハ承認シテ居ル譯デゴザイマセウガ、一十六「キロメートル」ト云フ御話デゴザイマシタガ、其ノ工費ハドノ位掛ルモノデゴザイマセウカ、チヨット御尋ネシタイト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 政府委員カラ御答ヲ致シマス

○政府委員(小林紫朗君) 只今ノ改正致シマスル部分ノ工事ハ、十七年度ニ工事ニ著手致シマシテ、十九年度ニ完成スル豫定デゴザイマス、三箇年ノ豫定デゴザイマス、四百二十六萬圓掛リマス

○田所美治君 鐵道會議ハ決定致シテ居ルノデゴザイマスカ

○國務大臣(八田嘉明君) 鐵道會議ニ於テ原案ヲ諮詢致シマシテ、原案通り可決致シマシタ

○田所美治君 四百萬圓ト云フトサウ高イモノデゴザイマセスト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(小林紫朗君) 大體此ノ線路ハ普通ノ所、非常ニ高クモナイ、非常ニ安クモナイト云フ所デゴザイマス

○田所美治君 今迄ハ是ハ何デゴザイマセウカ、福山カラ先ハドウナツテ居ッタノデゴザイマスカ、何カ「トラック」デモ運ンデ居ッタト云フ譯ナンデスカ

○政府委員(小林紫朗君) 只今ハ主トシテ小型ノ船舶デ「マンガン」ヲ運ンデ居ルノデゴザイマス、マダ今ノ處非常ニ數量ガ僅カデゴザイマスノデ、ソレデ間ニ合テ居リマスカ

○田所美治君 「マンガン」ノ出ルコトハ是ハ確カナノデゴザイマセウネ、表ニアリマスカ又拜見致シマス

○國務大臣(八田嘉明君) 只今「マンガン」ノ問題デゴザイマスガ、先程御説明申上ダタヤウニ、我が國ノ國內ニ於ケル「マンガン」ノ埋藏シテ居ル地點ニ付テ、政府ニ於テ帝國興業開發會社ト云フ國策會社デゴザイマスガ、サウ云フ風ナ「マンガン」ノ鑛石ヲ開發スベク努力ヲ致シテ居リマスル分ト、政府ノ部局トガ十分ニ打合シマシテ、其ノ打合ノ結果、此ノ地方ヲ開發スベキデアルト云フコトガ内定致シマシタノデ、此ノ鐵道ノ敷設ガ必要ニナツタト、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデゴザイマス

○堀啓次郎君 埋藏ノ御見込ハ如何デセウカ

○政府委員(小林紫朗君) 埋藏量ハチヨット申上ゲ兼ネルカト思フノデアリマス

○委員長(子爵清岡長言者) 遞信ノ事項ニ付テ、政府委員カラ發言ヲ求メラレマシタガ、此ノ際御許シテ宜シウゴザイマセウカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵清岡長言者) 御異議ナイト認メマス

○政府委員(伊勢谷次郎君) 先程ノ御話ニ

依リマシテ、郵便貯金法ノ改正ノ中デ、割増金附郵便貯金切手ト云フノヲ、命令デ定メマス事項ノ「プリン」ヲ致シマシタモノヲ御手許ニ差上ゲマシタガ、是ハ關係各省トモ相談ヲ致シテ、進行致シテ居ルモノデゴザイマスルガ、全部確定ノト申上ゲマスルコトハ出來マセウガ、今後協議ノ結果、尙變ル點モ生ズルカト存ジマスルガ、ドウカ其ノ點、御含ミ置テ願ヒタイト存ジマス

○委員長(子爵清岡長言者) ソレデハ鐵道ノ方ノ御質問ヲ願ヒマス

○田所美治君 地方鐵道補助法ヲ伺ッテ宜シウゴザイマセウカ

○委員長(子爵清岡長言者) 宜シウゴザイマス

○田所美治君 此ノ地方鐵道補助法ハ、私モ或地方ノ鐵道ノ關係ニ付テ、曾ツテ聞イタコトガゴザイマスガ、是ハ皆デハアリマスマイケレドモ、建設費ノ補助等ノ必要ナコトハナカク、緊切ナルモノガアルヤウニ思ヒマスガ、先程大臣ノ御話ノ中ニ、四分ニ達セザルモノハ、全部ノ四割ト云フコトガアリマシタガ、今日政府ノ關係シテ居リマス特殊會社等ニ於キマシテモ、四分以上保證サレテ居ル斯ウ云フ風デアリマスガ、四分ニ達シナイデ、維持困難ト云フヤウナモノガ多クアルモノデゴザイマセウカ、ソレハ又此ノ補助法ノ補助ニ依リマシテ、ドウヤラスウヤラ維持ガ出來テ居ルノデゴザイマセウカ、五年一期云々ト云フコトハ、チヨット分リマセウケレドモ、五年ダケ補助シテ、先ハ誠ニ不安デアル、五年間ニ、其ノ地方ノ人文ノ發達ト云フヤウナコトガ出來レバ宜シウゴザイマセウガ、ナカク、地方鐵道ノ端クレデアリマセウカラ、サウモ行カヌ

カモ存ジマセウガ、一體ドノ位ノ、地方鐵道ニ今補助ヲシテオイデニナルモノデゴザイマセウカ、其ノ邊ニ付テ、素人ニ分リマスカウニ、モウ一遍御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 御話ノ如ク、現在補助致シテ居リマスル鐵道ノ中ニハ、相當今後長ク補助ヲ致シテ行カナケレバナラナイ見込ノモノガアルノデアリマス、其ノ數等ニ付キマシテハ、後程政府委員カラ御答ヘ申上ゲタイト存ジマスガ、要スルニ、一般ニ申セバ、鐵道ノ輸送數量ト云フモノハ、年々増シテ參ッテ來テ居ルノデアリマス、其ノ點カラ補助ヲスベキ地方鐵道ノ數ト云フモノハ、減ッテ來ル譯ナンデアリマスガ、先程チヨット説明ノ中ニモ申上ゲマシタガ、是ト同時ニ、一方ニ於テ、色々物價ガ増シテ參リマシテ、ソレカラ勞銀等ノ關係ヤラデ、經費ノ方ガヨリ多ク増シテ來タト云フヤウナ關係カラ、矢張り補助ニ依ラナケレバ、經營ガヤツテ行ケナイト云フモノガ、相當一方ニ於テ又出テ參ッテ居ルヤウナ譯デアリマス、此ノ補助法ハ五年トナツテ居リマスガ、是ハ先ヅ五年ヲ一期ト致シマシテ、今後補助法ヲ延期致シマス、其ノ間ニ又補助ヲセヌデモ良クナルモノガ相當アルト思ヒマスルガ、中ニハ又其ノ後ニ於テモ、補助ヲ致サナケレバ、相當ノ經濟的ノ立場ニ於テ經營シテ行クト云フコトガ、困難ナモノモ、アルカト想像サレルノデアリマス、併シ一應一ツ五年バカリ延期シテ見タイ、斯クノ如ク國ノ内外ノ情勢ガ急變動致シテ居リマスルカラ、五年先モ實ハ、ドウカモ分リマセウケレドモ、一應五年ト致シテ見タイ、其ノ五年トシタ理由ハ、先程私ノ申上ゲタ

御説明ガ少シ足りナカッタノデ、御分リニク
カッタコトト後カラ考ヘタノデアリマスガ、
ソレハ現在ノ地方鐵道補助法ハ昭和十二年
ニ改正サレマシタ、ソレヲ新法ト申シテ居
マス、ソレ以前ノモノヲ舊法ト申シテ居
マスガ、其ノ舊法ニ依ッテ既ニ當時補助
受クベク約束付ケラレタモノガアリマシテ、
ソレガ丁度今後五年デ、舊法ニ依ッテ補助
レテ居ル地方鐵道ノ期間ガ滿了スル譯ナ
デアリマス、舊法ト新法トニ依ッテ各補助
サレテ居リマスノヲ、期間ヲ五年ト致シマ
スト丁度ピッタリ合フ譯デアリマス、ソレ
デ五年ト致シタノデ、期間ハ五年ガ宜イト
云フ理由ハ外ニ別段ナイノデアリマス

○政府委員(佐藤榮作) 補助鐵道ノ會社
ノ數ト云フコトデアリマスガ、此ノ補助法
ヲ改正致シマシタ昭和十二年ニ約百三十二
アツクデアリマス、其ノ後幾分カツ、減ッ
テ參リマシテ、十六年度ノ補助許可ノ會社
ハ百四ニナツテ居リマス

○田所美治君 地方鐵道ト云フモノハ段々
買收サレレルニシマシテモ、議會ニ御出シニ
ナルモノハ誠ニ僅カナモノデアリマスカラ、
百幾ツト云フモノハナカノ減リハシマス
マイト思ヒマスガ、段々ソレガ整頓シテ補
助ノ御蔭デ國有鐵道ト連絡、或ハ均衡ヲ得
テ立派ナモノニナツテ行キツ、アルト、斯ウ
御認めニナリマスモノデゴザイマセウカ、
中ニハモウ維持ガシ切レナイデ補助ヲ打
切ッテシマフ、困難ナ状態ニ陥ッテ補助ノ目
的ガ達成サレナイヤウナモノガ從來多クア
リマスモノデスカ、多クモゴザイマスマイ
ガ、或ハ是ハ國有鐵道ニナル前ニハ、此ノ
ヤリ方デ補助シテウマク行キサヘスレバ餘
程都合ガ好イノデヤナイカト、素人ニハ考

ヘラレルノデアリマスケレドモ、百三十二
ガ百四ニナツテ來タト云フコトハ、ソレハ他
ノ大キナ線路へ買收サレテ、數ガ減ッテ來
タ、或ハ國有鐵道ニ御變ヘニナツタト云フ
ヤウナ關係デアリマスガ、或ハ潰レタモノ
モアリマスガ、ソノナコトノ一覽表デモ後
戴ケマスレバ、戴キタイト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 大體其ノ表ハ差
上ゲルコトガ出來ルダラウト思ヒマス

○政府委員(佐藤榮作) 先程非常ニ簡單
ニ申上ゲマシタガ、モウ少シ詳シク申上ゲ
タイト思ヒマス、十二年度百三十二デ、大
體補助金額ニ致シマシテモ六百六十萬圓バ
カリ掛ッテ居ッタノデアリマス、ソレガ十三
年ニナリマス二百二十七ニ減ッテ參リマシ
タシ、十四年ハ百二十五、十五年ハ百二十
一、更ニ十六年度許可シタノガ百四デアリ
マス、先程大臣カラ御話モアリマシタガ、
大體此ノ十二年ニ補助ヲ致シマシタ際ニハ
補助鐵道ノ収益率ト申シマスカ、建設費ニ
對シマシテ約二分五厘程度ニ廻ッテ居ッタ
ノデアリマス、ソレガ十五年ニナリマス
ト、此ノ十五年ノ期ニハ許可シタ中ニ成績
ガ非常ニ好クナリマシタモノモアリマシタ
ノデ、結局十五年ニハ補助金ヲ交付シナイ
デ濟ンダノデアリマスガ、ソレ等ノ補助許
可ノ會社全體デ見ルト約五分四厘ニ上ツテ
居リマス、是ハ取りモ直サズ成績ガ非常ニ
向上シテ參ッタ結果ト考ヘテ居リマス、
唯一方デ全體ト致シマシテハ今申上ゲマス
ヤウニ成績ガ向上シテ參リマシタケレドモ、
一方運輸數量ノ増加ヨリ以上ニ經費ノ膨脹
ヲ來シテ居ル鐵道モ一方ニアルノデアリマ
シテ、其ノ方ノ鐵道ガ約四割程度今尙殘ッテ
居ル譯デアリマス、從ヒマシテ今後ノ情勢

如何ニ依リマシテハ段々補助鐵道ノ數モ減
ルカト考ヘラレマスケレドモ、今申上ゲマ
シタヤウナ鐵道ニ於キマシテハ最近ノ物價
高ナリ、或ハ勞銀高ナリ、修繕費等ガ高
デ參リマスノデ、茲暫クハ經營上相當困
難ナ状態デハナイカト考ヘマス、唯是等ノ
鐵道ニ於キマシテハ地方交通ト致シマシテ
ソレノ重要ヲ使命ヲ果シテ居リマスシ、
又最近ノ工場等ニ於キマシテモ是等ノ沿線
ニボツ／＼出テ參ルヤウデアリマス、今後
ノ推移ヲ見ナケレバ十分見當ハ付カナイノ
デアリマスケレドモ、私共ト致シマシテハ
是等ノ鐵道モ補助育成シテ自立ノ域ニ是非
達スルヤウニ致シタイト、斯フ云フ風ニ考
ヘテ居ル次第デゴザイマス

○田所美治君 地方鐵道ノ經營ニ付テハ嚴
重ナ御監督ニナツテ居ル譯デアリマスカラ、ナ
カナ細目迄モ監視サレテ居ルト存ジマス
ガ、政府ノ鐵道ノ收入支出ノ増加ニ對スル
ナンデ、賃銀ヲ御上ゲニナツタリ、色々ナコ
トヲ爲サツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、
地方鐵道モ同様ノ矢張り費用支辨ノ爲ニハ
近來段々賃銀ノ向上トカ、運賃ノ値上ト云
フヤウナモノヲ御認めニナツテ居ルト、斯ウ承
知シテ居ッテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(八田嘉明君) 地方鐵道ノ運賃
ハ大體ニ於テ鐵道省ノ國有鐵道ノ運賃ヨリ
モ賃率ガ高イヤウデゴザイマス、ソレハ御
承知ノ通り距離ガ短イト云フヤウナコトデ、
輸送量モ國有鐵道ニ比シテハ割合ニ少イ、
併シ其ノ地方鐵道ハ地方ノ開發交通ノ爲ニ
必要デアルト云フコトト睨ミ合セマシテ運
賃ガ決メラレテ、ソレヲ認可シテ居ル譯デ
ゴザイマスケレドモ、大體ニ申セバ高イノ
デゴザイマス、ソコデ今度鐵道省ノ方デ國

有鐵道ノ運賃ヲ上ゲルコトニナツテ居リマ
スガ、是ハ御承知ノ通り浮動購買力ノ吸收
ト云フノ第一ノ目的ニシマシテ、兼ネテ
戰時ノ一般財政並ニ鐵道財政ノ強化ヲ圖ッテ
行ク、斯ウ云フヤウナ考デ國有鐵道ノ運賃ノ
調整ヲ致スコトニナツタノデアリマスガ、之ニ
直グ並行シテ國有鐵道ノ値上シタカラ地方
鐵道モ値上スルト云フコトハ致サナイ積デア
リマス、唯鐵道ガ互ニ國有ト民營トガ相關聯
シテ居リマスルヤウナ場合ハ、自然地方鐵道ノ
方モ之ヲ上ゲルト云フコトニ對シテ、變更ス
ルコトニ對シテ、許可ヲ致ス積デアリマス、
尙地方鐵道ニアリマシテハ、サウ高クナク
テ、現在非常ニ低イノガ又中ニアリマスカ
ラ、サウ云フノハ、段々ト國有鐵道ノ運賃
ノ調整ト睨ミ合セマシテ、之ヲ調整致スト
云フコトニ對シテハ、考ヘテ參リタイト考
ヘテ居リマス、從ヒマシテドノ鐵道、ドノ
鐵道ト云フコトヲ一々申上ゲナイトムヅカ
シイノデゴザイマスノデ、大體左様御了承
願ヒタイト思ヒマス

○田所美治君 折角練達御經驗ノ最モ深イ
鐵道大臣ガ御在職デゴザイマスカラ申上ゲ
タイトノデスカ、地方鐵道ハ段々國有鐵道ニ
皆シテシマウト、斯ウ云フ御方針ト承知シ
テ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(八田嘉明君) 御承知ノヤウニ
鐵道國有法ノ第一條ニ、原則トシテ帝國ノ
鐵道ハ國ノ所有トスト言ヒマスガ、國有ト
スルト云フコトガ明治三十八年デゴザイマ
シタカ、九年デゴザイマシタカ、議會ヲ通過
シマシタ國有法デ定メタ譯デアリマス、ソ
レガ根幹ニナツテ居リマス、唯ソコニ一
地方ノ交通ヲ目的トスルモノハ此ノ限リデハ
ナイト云フコトデ、地方鐵道ガ許可、免許

サレテ居ルト云フコトニナツテ居リマス、從ヒマテシ、地方鐵道ト雖モ最初ハ地方鐵道トシテ生レマシタ時ハ、所謂一地方ノ交通ヲ目的トシタモノダト思ヒマス、併シナガラ何年カ經ツテ段々發達シテ參リマス、其ノ地方鐵道ナルモノハ他ノ國有鐵道ト區別ノナイヤウナモノガ、機能ニ於テ性質ニ於テ、變リノナイヤウナモノガ出テ參リマスコトハ、御承知ノ通りデアリマス、サウ云フ鐵道ハ一體申シマス、國ノ所有ニ編入シテ行クノガ、私ハ是ハ順序デアラウト思ヒマス、ソコデ鐵道省トシマシテモ大體サウ云フヤウナ心持デ今日迄運シテ居ル譯デアリマス、唯一方ニ於テ買収ニ必要ナル所ノ交付公債トカ色々サウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ、國ノ財政ノ一般ト睨ミ合セテソレガ決定サレテ來テ居リマスルカラ、國有鐵道ニ於テ考ヘテ居リマスルヤウナ希望ハ、今日迄ハ達成サレテ居リマセス、今後ト雖モサウ云フ性質ノモノハ、國有鐵道ニ編入シテ行キタイト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、今回ノ議會ニ於テモ實ハ多少ナリサウ云フ鐵道ガゴザイマスルノテ、希望ヲ持ツテ居ッタノデゴザイマスガ、今回ハ戰時ニ直接關係ノアル仕事ト云フコトヲ標準トサレタ爲ニ、ソレヲ出スコトヲ差控ヘタヤウナ次第デアリマス、尙國有鐵道ニ買収シテ編入ハ致シマセスデモ、恰モ國有鐵道ノ運營ト一體ニナツタヤウニ取扱ツテ行クコトガ必要ダト思ヒマス、ソレガ爲ニハ場合ニ依リマシテハ經營ヲ委託スルト云フ斯ウ云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマス、ソレカラ又日々ノ旅客、貨物ノ運營ニ於キマシテモ、之ノ連絡ヲ極ク密ニ致シマシテサウシテ恰モ官私ノ別ガナイヤウナ風ニ、

之ヲ利用スル人カラハ利用ガ出來ルト云フヤウニ致ス爲ニ、今回ノ貨物運賃ノ改正等ニ於キマシテモ、官私ヲ通ジマシテ、現下ノ時局ニ於テ必要ナル貨物等ニ付キマシテハ通シ運賃制度ヲ擴充シツ、アルヤウナ次第デアリマス、要ハ官私ト云フコトノ區別ナク、國內ノ鐵道ヲ殆下一貫ニ運營スルト云フコトヲ鐵道省トシテハ目標トシテ色々ノ施設ヲ今日迄モ講ジテ居リマスガ、斯ウ云フ事態ニナリマスルト、尙一段トサウ云フ所ニカヲ入レタイト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵清岡長言君) 他ニ御質疑、ゴザイマセヌカ、質疑ガナケレバ今日ハ此ノ程度デ散會致シタイト思ヒマス

午前十一時三十二分散會

出席者左ノ如シ

- 委員長 子爵清岡 長言君
- 副委員長 男爵神山 嘉瑞君
- 委員 公爵二條 弼基君
- 子爵仙石 久英君
- 田所 美治君
- 堀 啓次郎君
- 中島德太郎君
- 片倉兼太郎君

國務大臣

- 逓信大臣 寺島 健君
- 鐵道大臣 八田 嘉明君

政府委員

- 逓信次官 手島 榮君
- 逓信省郵務局長 遠藤 後一君
- 逓信省電務局長 中村 純一君
- 逓信省管理局長 景山 準吉君
- 逓信省工務局長 松前 重義君
- 逓信省經理局長 小林 武治君

- 貯金局長 伊勢谷次郎君
- 海務院長官 原 清君
- 鐵道次官 長崎惣之助君
- 鐵道省監督局長 佐藤 榮作君
- 鐵道省運輸局長 堀木 鍊三君
- 鐵道省建設局長 小林 紫朗君

貴族院船舶保護法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號正誤

頁	誤	正
四	四	七
四	一五	一五
四	一五	一五